

公民館報 たかき

写真：喬木カメラクラブ 宮下 昇「春の使者」
題字：真浄寺書道会 松澤 衣羽

【第655号】

発行日 2024年3月15日

発行責任者 喬木村公民館長

林 司

編集責任者 公民館編集部長

池田 英明

印刷 龍共印刷株式会社

ニケーション



「ミニ」は、暮らしに密着した環境問題です。生活していく中で必ず出る「ミニ」を村の皆さんはどのように処理しているのか、ゴミを減らす取り組みや疑問について話し合いたいと、ふるさとづくりフォーラムで取り上げることになりました。

当日は、約100名の皆さんが集まってくださり、はじめに役場と南信サービス、稲葉クリーンセンターの方からゴミ出し状況や、分別のポイント等についての話を聞きました。次に、自分の家でやっているゴミ出しの工夫と、ゴミを減らす取り組みや疑問について、グループに分かれて意見交換をしました。「ゴミ出しは分かってはいたつもりだったが、参加して曖昧に思っていた分別の仕方がよく分かった。」との声も聞かれ、早速今日からのゴミ出しに役立ててもらえそうです。

竹村さんより

紙資源の出し方を見直し 分別に取り組みましょう
燃やすゴミ、ビン、紙資源の収集、ゴミ出しの現状をお伝えます。

ビンについて、リサイクル業者さんからは**4段階で最も低い「D評価」**です。はないガラス製品（コップ等）や陶器

キャップを取ってさっとゆすぎ、色分以外を混ぜないでください。

紙
「紙」がついたものです。
乳パックは紙資源には含まれません。
出してください。洗剤を使



稲葉クリーンセンター 原さんより



燃やすゴミとして出せるものを確認し、リサイクルできるものはリサイクルへ
収集所で回収される燃やすゴミの約9%は、紙、プラスチックなどのリサイクルできるものです。

燃やすゴミにならないもの(例)

【金属、燃えにくい素材のもの】
携帯電話、コード類、スキー板、ヘルメット、リモコン等

【一般廃棄物でないもの】
農業用マルチ、タイヤ

【危険なもの・有害なもの】
乾電池、ライター、医療用廃棄物、水銀体温計

【紙資源になるもの】
コピー用紙、紙製菓子箱、包装紙 等



【プラ資源となるもの】
弁当容器、菓子袋、調味料チューブ、シャンプー容器 等

※さっと洗って汚れが落ちないものは燃やすゴミで結構です

※事業所から排出されるものは産業廃棄物となり、持ち込みできないものがあります。

グループワークの様子 (ゴミ出しの工夫や疑問について)

ペットボトルのフタは貯めておいて、社協に出している。

買う時に箱から出して中身だけもらってくる。

燃やすゴミの袋破れやすい。破れないようにうまく入れる方法を考えている。

臭いのあるプラは燃やすゴミに入れていたが、今後は気を付けてリサイクルしたい。

ネットで水を切った後、絞ってから出す。(生ごみ)

ゴミのカレンダーで出し方が分かりにくいものがある。

生ごみは畑に穴を掘って埋めて肥料にしている。畑のある人が実行すればかなりの量のゴミが減らせるのではないか。

北地区ではゴミ出しに責任を持つように、指定番号を書くようになった。

一番の問題は無記名。その解決が必要。収集の方に指摘して欲しい。原因を住民に伝えて欲しい。

ビンがビンとしてリサイクルされることを知ることも大事

2月4日開催 今日から始める

シヨツク

当村のビンの出し方

D 評価



最後に、「当たり付」ゴミ袋の当選発表があり、くりん豚とせっけんづくりの会から提供していた「だいた」くりん豚とせっけんのプレゼントに盛り上げました。(社会部)

役場生活環境課 山川さんより



喬木村のゴミ処理状況 (令和4年度)

全体のゴミ排出量 約960トン
一人当たり年間排出量 約170kg

⇒うち燃やすゴミの割合は74.6%

燃やすゴミを減らすことが課題です。特に生ごみは燃やすゴミの40%以上を占めているため、水気を切る、生ごみ処理機を使用する等、家庭での取り組みにご協力をお願いします。

4月よりプラスチック製品の出し方が変わります!

<新たに「資源プラスチック」に加わるもの>

- ・ビニール製品 (雨合羽、浮き輪など)
- ・CD・DVDディスク (プラスチックケースを含む)
- ・プラスチック製容器製品 (プリンター、ポリバケツなど)
- ・プラスチック製のキッチン用品、食器、サニタリー用品、文具 (ボウル、タッパー、スポンジ、皿、ストロー、歯ブラシ、洗面器、洗濯ばさみ、ボールペン、定規、クリアファイルなど)

全体または大部分がプラスチックの製品が対象です。汚れを取り、長さを短くして出してください。

(株)南信サービス



ビンと正しい
喬木村の現場から

ビンについて

- ・喬木村を含めた1町3村で収集したからいただいている**分別等に関する評価**収集所では、色分けがされず、ビンで混ざっている所も見られます。
- ・ラベルは付いていて結構ですので、**け**をして出しましょう。決して空きビン

紙資源 (紙箱類・包み紙・紙類) につ

- ・紙資源として出せるものは原則「紙マ段ボールマークのついたもの、**酒・牛乳**ません。混入が多いので気を付けて
- ・**汚れたものは水でさっと洗い流して洗う必要はありません。**

その他にもたくさんのご意見等をいただきました。詳細は3月下旬頃、当日出された質問への回答を含めて村ホームページに掲載する予定です。

※公民館窓口でも配布いたします。

今回のふるさとづくりフォーラムは、講師の皆さん、せっけんづくりの会の皆さんにご協力をいただき開催する事ができました。

この場をお借りし、感謝申し上げます。またご参加いただいた皆さんも、お忙しい中時間を作って参加いただきありがとうございました。

出された質問とその回答

- 年間計画を見ても出し方がわからないものがある。どうすれば良いか…
→**詳細が書かれたガイドブックがあるのでそちらをご覧くださいか、役場生活環境係までお問い合わせください。**
- 生ごみ処理機・乾燥機、購入に対して補助がありますか？
→**購入価格の1/2(上限5万円)で補助があります。生ごみ乾燥機についても補助対象となります。**
- アルミ箔や乳製品の蓋でアルミ表示のあるものは金物類で出せないでしょうか？
→**アルミ箔、乳製品のフタは金物類で出してください。**
- 乾燥剤は燃やすゴミで出しても良いでしょうか？
→**燃やすゴミで出してください。ただし生石灰を使用した乾燥剤は水に触れると発熱するため、生ごみなど水気のあるものと一緒に捨てないでください。**
- 石けんの包装等、香りがあるものは再生紙で良いでしょうか？
→**紙マークがついているものであれば、香りがあるものでも、紙資源ゴミとして出していただけます。**

これからの公民館のあり方について

公民館運営協議会の答申を踏まえた今後の展開

「本館、地区ともに活動内容を見直す時期が来ている」など公民館の見直しをする時期であるとの意見が出されたことから、令和4年度に公民館長より諮問を受けた、公民館運営審議会においてあり方の検討が行われました。昨年12月に答申が出されたことにより、喬木村公民館の今後の方針を定めましたのでお知らせします。

公民館の役割『こちよい つながり』をつくり、それを広げること

こんな地域に… 災害時や普段の付き合いの中で助け合えるつながりができる。身近な地域の付き合いの中で気持ちよく『お互い様』と思える地域。

目指す姿

- ①人づくり、地域づくりにつなげる公民館活動
- ②若い人たちが関われる仕組みづくり
- ③少子高齢化、人口減、コミュニティの変化に対応
- ④気軽に参加できるイベント

令和6年度からの展開について

「こちよいつながりをつくる」ための事業実施

- 持続可能な地域づくりに向け、子どもから大人までの縦のつながりを意識し、地域資源を活用した事業の実施
→ふるさとづくりフォーラム、自治会・お祭りと連携した事業など
- 気軽に参加でき、体験を通して、つながりができる事業の実施 →川遊び体験（楽遊塾）、スポーツ交流会など
- 近隣市町村公民館との連携 →学習会等、近隣市町村と共同してできるものについて検討を行う
- 各部他団体との連携 →各団体等で取り組んでいる子ども向け事業などについて連携して行う

「こちよいつながりをつくる」ための体制変更

本館

現行の「体育部、社会部、教養部、編集部」の4部体制を3部体制に変更し、名称を改める。
【令和6年度からの体制】スポーツ部（現体育部）、文化部（現社会部・教養部）、広報部（現編集部）

分館

- ・公民館活動に支障ない範囲での組織体制を可能とする。（分館長、副分館長、主事は兼務可能）
- ・分館の役員不足の課題へは公民館内だけではなく地区自治会等の再編も含め検討する。

村民の皆さんからの声をお聞きしながら、時代に合った、そして喬木村に合った公民館にしていきたいと思えます。今後とも公民館活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



この作品は、東日本大震災と福島原発事故の現状を知ってもらおうと結成された福島の朗読グループ『たねまきうさぎ』の高校生たちが、全国の若者や世界の核被害者の人々と出会い、交流し学び成長して行く姿を描きます。60年ものあいだ核被害と戦い続けてきたマーシャル諸島の人々、旧ソ連の水爆実験地カザフスタンの少女、汚染水に苦しむ漁師、放射能に土地を奪われた農民。その人々の姿から、若者たちの平和の種まきが広がり、平和の種が芽生えていきます。

令和五年度 第二回平和学習会
映画「種まきうさぎ」
フクシマに向き合う青春
上映会



私たちは、学び成長する彼女たちから何を受け取ることができるでしょうか。鑑賞後に参加者で話し合った感想の一部を紹介します。

普通がいかに大事が失くした時に初めて分かる。

原発は必要なのだろうか。私たちはもっと学び考えるべきだと思う。

福島から逃げ出さずに大きく成長していく高校生の姿がすばらしい。

福島原発事故から13年、改めて考える機会になった。放射能汚染や震災復興には気が遠くなるような歳月がかかるだろうが、分かち合わなければいけない。

自分がやらなければ繋がらないという漁師の言葉が力強い。

自然エネルギー、自然の力を利用する生活を考えていきたい。

マーシャルの人々の「私たちはサバイバー。どんな困難でも切り開いて生き抜く」という言葉に感動した。

2/11
開催

撃り！のたかぎの子

突し

阿島子ども獅子



4月6日、7日に開催される阿島祭りに向けて阿島地区の小学生が子供獅子の練習に励んでいます。今年も小学1年から6年までの30人が参加。青年獅子にも負けない迫力ある獅子舞を披露しようと、阿島獅子継承会の皆さんから指導を受けながら舞いと演奏の技を磨いています。

子供獅子は、児童たちの元気な獅子舞で祭りを盛り上げるとともに、青年獅子の担い手を育成する目的で2007年に始まりました。

練習は11月に開始し、月4

回、喬木村第一公民館で行っています。今年も30人のうち10人が初めて子供獅子に挑戦する児童。頭8人と太鼓10人、笛12人に担当分けをして、まずはパートごとに基礎的なトレーニングを積んできました。

本番まで1か月半を切った2月末の練習では太鼓と笛の演奏に合わせて頭が舞い、音と動きを念入りに確認。指導者から「もっと演奏の音を聞くように」などアドバイスを受けながら繰り返し練習していました。

獅子舞の花形である頭を担う小学6年の塩澤晴君（12）は「小さい頃から阿島獅子を見ていて自分もやってみたくかった」と昨年参加。2年目の今年は「獅子が生きているような滑らかな動きができるようになってきている」といい、「本番は自信を持って舞



分館活動報告 Vol.4

「住みやすい喬木村」

伊久間分館長 松葉 元実

伊久間地区公民館館長として1年間の在任期間では有りましたが、公民館は地域活動の拠点として、子供から高齢者の集える場所と思います。昨年はコロナ感染も第5類になり公民館活動が行える様

「いたい」と意気込んでいました。

子供たちが上達する姿を見守っている継承会の市瀬兼寿会長（73）は「将来は青年獅子を継いでほしい」と期待し、「子供たちは頑張っていて練習しているの当日はその成果をたくさんの人に見てほしい」と話していました。



になりましたが、体育部の一大イベント常会ソフトボール大会が、チーム数減少で中止になり非常に残念では有りましたが、区民マレットゴルフ、ペタンク大会が、盛大に出来ました。

今年度の社会部の事業を振り返ると、地域の活動が復活する中でコロナ前に戻していかねければと思いつつも色々な意見があり未だに踏み切れずにいるところです。敬老会の記念品配布、文化祭展示、年末行事「おやす」作りを行う事が出来ました。

婦人部の活動につきましては、コロナ感染での活動制限が解除され、感染に留意しながらも計画通り活動を実施する事が出来ました。春季祭典では、感染防止を考慮し個包装のおにぎりを準備しました。又、「もっと自分達の喬木村を知ろうよ！」をテーマに、7月1日に28名で村内の視察を行い、11月26日には大原美津子さんをボランティア講師にお招きして、「クリアスマース」を作成しました。区民の皆様の協力で楽しい時間が持てた事に感謝しています。又、毎月行われる「加工センター・わの里公園」の清掃につきましても組合の皆

様には、今後とも宜しくお願い致します。

これからの伊久間分館の取り組みにつきましては、少子高齢化により人口減少また価値観の多様化により地域連携意識が薄くなり公民館活動への参加が出来にくい状況ですが、伊久間区民の文化の発展、福利厚生を目指し健康で明るい豊かな生活の向上と、区民相互の信頼と親睦を図り、「困った時はお互い様」精神で、有りたいです。



「もっと自分たちの喬木村を知ろうよ！」

木下椋記念館長さんにお話をお聞きし、展示された阿島傘の美しさに感動した一枚です。

（活動） やっとるにー!!

クラブ・サークル紹介

たかぎスポーツクラブ 「スポレックサークル」



①いつから活動していますか？ 約10年
 ②いつ活動していますか？
 火曜日 14時～15時30分
 ③何名で活動していますか？ 10人
 場所：中央社会体育館
 内容：スポレック、ワンバウンドふらばーるバレー

みんなで和気あいあいと
楽しんでいます！



公民館主催の春と秋のスポーツ交流会にも積極的に参加しました。男女問わず一緒に楽しんでくれる方を募集しています。お問い合わせはたかぎスポーツクラブ、または直接様子を見に来ていただいてもOKです！

毎週火曜日の午後、中央社会体育館からはいつも元気で賑やかな声が聞こえます。たかぎスポーツクラブのサークルとして、スポレックとワンバウンドふらばーるバレーを行っている皆さんは表情も声も明るく、動きも軽やかに楽しんでいます。

スポレックは、シャフトの短いプラスチックのラケットでテニスボールと同じ大きさのスポンジボールを打ち合うゲームです。室内で行うことができ、年齢を問わず楽しめます。

また、ワンバウンドふらばーるバレーは、やわらかい変形ボールを使ったバレーボールで、少しだけ頭を使いますが、それがまた楽しいスポーツです。

長い方は10年位になり、たかぎスポーツクラブでニュースポーツとして行うようになった当初より活動しているのですが、現在は人数も減っており新しい仲間を大募集中です。

練習だけでなく、勝敗は関係なく楽しみながら大会にも参加しているというところで、練習の成果も感じられる機会があるのもモチベーションを持ち続ける原動力となっているのだと感じました。

たかぎ短歌会 如月歌会詠草

勝ちゃんも家族の一員お年玉に肉を上げればワンワン二歳しょう

小椋 りよ

青空に初冠雪のアルプスを遠くに望み大手広げる(陣馬形にて)

知久 美子

「ブギウギ」見 能登の被災地気にしつつ大相撲みて一日終へひとひ

市瀬 准子

牙ゆる空ギリシャ神話の星捜す焔めく宙を寒さ忘れてそら

塩澤真由美

鈴生りの南天の実は頭垂れ真紅の粒はルビーの輝きこころ

内山 貴子

新年会隣組み集う常会のお日待ち最中に突然の地震な

田中 妙子

好物の煮物を今朝は口にせず何時もは旨いと言いにし夫は

木下 寿子

若きころ知り合いだった珠洲の友今は如何にとひたに案ずる

和田 京子

我が村の指導者たりし友逝きぬ惜しむ心に寒の風染む

木林 睦枝

午後からの大雪予報に薬のみ貰いそそくさ家路を急ぐ

内山 和子

年ごとに庭の手入れのままならず枯葉の山は見ぬこととする

元島 康子

塩辛を摘みて猪口を傾けばいつしか父の仕種に似て来しんぐ

福澤 亀人

島崎さん・北澤さん
硬式テニス北信越
大会出場

第49回全国中学生北信越地区予選大会（5月20日～5月23日開催）に硬式テニス（男子ダブルス）部で出場された島崎晃太さん（田上川）、北澤光琉さん（馬場）の激励会が昨年2月28日に行われ、村及び村体育協会から激励金が授与されました。

島崎さん・北澤さんは、10月22～23日に行われた全国中学生テニス選手権大会長野県予選で優勝し、新潟県長岡市で行われた北信越地区予選大会に出場しました。結果はダブルス三位の結果となりました。

二人は小学生の頃からたかぎスポーツクラブで硬式テニスを練習しており、お互いの信頼関係は強いものと感じました。今後のご健闘をお祈りいたします。



湯澤さん・牧内さん
水泳全国大会出場

第46回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会（8月22日～26日開催）に10歳以下の部で、4×50mリレーに出場された湯澤心美さん（第一小5年・田上川）、牧内莉玖さん（第一小5年・阿島北）の報告会が12月22日に行われ、村及び村体育協会から激励金が授与されました。

お二人は、2023年度県選手権水泳競技大会（令和5年8月開催）で、10歳以下女子4×50mの部で県代表として東京都江東区で行われた全国大会に出場しました。17位の結果となりました。個人メドレー200mと背泳ぎ50mで出場された湯澤さんは個人メドレーで20位、背泳ぎで10位となりました。

二人とも喬木出身であり一緒に上の大会を目指しているとのことですので、今後のご健闘をお祈りいたします。



宮島拓斗さん
全日本大学野球
選手権大会出場

第72回全日本大学野球選手権大会（6月5日～7日開催）及び第54回明治神宮野球大会（11月15日～20日）に大学野球（ピッチャー）で出場された宮島拓斗さん（阿島南）、の激励会が1月5日に行われ、村及び村体育協会から激励金が授与されました。

中部学院大3年の宮島さんは地区予選を勝ち上がり、明治神宮野球場で行われた全日本大学野球選手権大会に出場しました。結果はベスト8。2回戦天理大との試合に登板し9回143球を投げ自責点0の好投で勝利に貢献されました。

秋に開催された明治神宮野球大会は一回戦敗退でした。宮島さんは現在3年生。来年も楽しみます。今後のご健闘をお祈りいたします。



喬木村俳句会 如月句会 詠草

木下 瑞恵

矢澤 恵美子

松島 みのり

宮島 高枝

村山 たか子

原 美恵子

西元 くにこ

市橋 ヨリ

松葉 孝子

吉川 てる子

寒晴やかイトふたつとジエツト雲
木の芽風よちよちの歩々母の手と

蠟梅の香に誘われて来る人
フクシマの子等よ学びて草萌ゆる

シャッター切る墨絵の如し春の雪
犬ふぐり小瓶に入れし遠き日よ

日射し浴び春雪のなか青菜映ゆ
春光の母校跡地に若き声

春光に鳥の羽踊る梅の枝
縁側に茶を注ぎ交わす日向ぼこ

押車蠟梅の香の背に仄か
春の夜のしじまに深き夫寢息

能登の地震不明者つぐる声寒し
春待ちて踏みたる土の固さかな

傘立てに杖が一本雪解けり
春浅しバスを見送るシルバーカー

曾祖母の昔話や春火鉢
憂ひごと空へ消えゆく雪解風

悴みて孫の夢見に温もれり
このうまさ一人暮らしの落の臺

あのとき、このとき

公民館長



能登半島地震から3ヶ月が過ぎようとしている。地震による問題の一つに膨大な災害ゴミ(災害廃棄物)がある。

石川県内の家屋の被害は5万棟を超え、災害ゴミは推定244万トンに上ると県が伝えている。がれき類、屋根瓦や梁・柱、家具、電化製品・車両などだ。うちコンクリートからの120万トンは再生利用し、38万トンは県外で処理する予定。自治体間の広域連携で、既に隣接県がゴミの受け入れをしているそうだ。残り86万トンは県内処理をする。稲葉クリーンセンターの年間搬入量は約2万トンだから、飯伊地域の焼却ゴミ43年分。喬木村でも職員を派遣し、災害ゴミの対応支援をしている。災害が起こった時のゴミの対応については村でも基本計画があるそうだ。確認したい。

研修や話し合いが持たれた。およそ百名の参加があり、関心の高さが伺われ、どのよう

にゴミ処理すればより効率的で環境に負荷がかからないのかなどが話し合われた。

喬木村の燃えるゴミ排出量は、年間646トン(令和5)。近い人口の豊丘村より60トンほど多い。ビンの出し方にも課題があると聞いた。この4月からはプラゴミの出し方が変更される。

災害に備えることも意識しながら、生活ゴミをいかに出さないようシンプルに生活するか考え実践していきたい。

2月4日の公民館主催「ふるさとづくりフォーラム」では、日常のゴミ処理について



●本館公民館 部員大募集!

本館公民館で事業の企画・運営に携わっていただける方を募集しています。

地域の方と関わりたい!こんなイベントをしたい!など、喬木村公民館の活動を一緒に盛り上げてみませんか?応募要件はやる気だけ。ご応募お待ちしております。

※本館は広報部、文化部、スポーツ部の3部体制になります。いずれかの部に所属して活動していただけます。

お問合せ 喬木村公民館 ☎0265-33-2002

今回の表紙

題字

松澤衣羽さん(喬木第一小学校6年)

小学校3年生の終わりから習字をならっています。全体的に難しかったです。これからもっと上手に書けるように頑張ります。



写真

宮下 昇さん(喬木カメラクラブ)

タンポポの花にヤブキリというキリギリス科の幼虫が花を食べに来ていた様子です。春らしい息吹を感じて撮影しました。



ご意見・ご感想 お待ちしております

館報を読んで思ったこと、感想をお寄せください。寄稿も大歓迎です! 喬木村の公民館報をみんなで作っていきましょう!

☎ 0265-33-2002

mail: syakai@vill.takagi.nagano.jp

今年も花粉の季節がやってきた。既に数十年の付き合いになるが、こればかりはできれば切りたくない縁である。

先日、小学校の子どもたちが卒業式の歌を□ずさんでいるのを聞いて、自分の子どもも卒業式や入学式の事を思い出した。今と違ってマスク姿で出席などしなかった。この時期の肌の管理はかなりの大変だった覚えがある。

地域の大人として式典に招待されている今年、晴れの舞台を迎える子どもたちの姿を、むず痒い鼻を気にせず見られるのは何と嬉しいことかと思いつつ、手放せないマスクを見つめるのだった。

